

スマホサミット

情報収集や連絡の手段として便利で欠かせないツールとなったスマートフォン。しかし、使い始めると時間を忘れて没頭してしまい、やるべきことがおろそかになってしまったり、寝不足になってしまったりすることがあります。また、常にスマホをチェックしていないとイライラしたり、不安に襲われたりする「スマホ依存症」になってしまうことがあるのも事実です。その他、SNSをはじめとするインターネット上のトラブルやネットいじめなどの問題も身近に起こっています。

そんな中8月22日（火）に「**尼崎市スマホサミット2023**」が尼崎双星高等学校で開催されました。参加した児童生徒は小学校2校（立花南小、園和北小）、中学校2校（大庄北中、園田中）、**高等学校2校（本校、尼崎双星高）**の計6校。進行に際しては各班には大学生が、全体としては兵庫県立大学の竹内和雄教授がコーディネーターを務められました。

年代や学校の枠を超えた5つの班に分かれ、スマートフォン等の使用にかかわる課題を共有し、ルールづくりや提言の作成に関して、考える機会を持ちました。サミットの活動の場を通して、自分で考えたり意見を発表したり、小中学生と交流するとともに、このサミットにご参加いただいた尼崎市の松本市長や白畑教育長からもご意見をいただくなど、生徒たちにとっては実りのある大変貴重な経験の場となりました。

このサミットでの提言等をもとに、本校でも**生徒主体**で、ルール作りなどの活動に生かしてほしいと思います。



